

品質マネジメントシステム

長谷工コーポレーション・長谷工リフォーム・不二建設では、ISO9001に基づく品質マネジメントシステムを構築し、品質方針を定め、品質向上に取り組んでいます。

安全・安心・快適

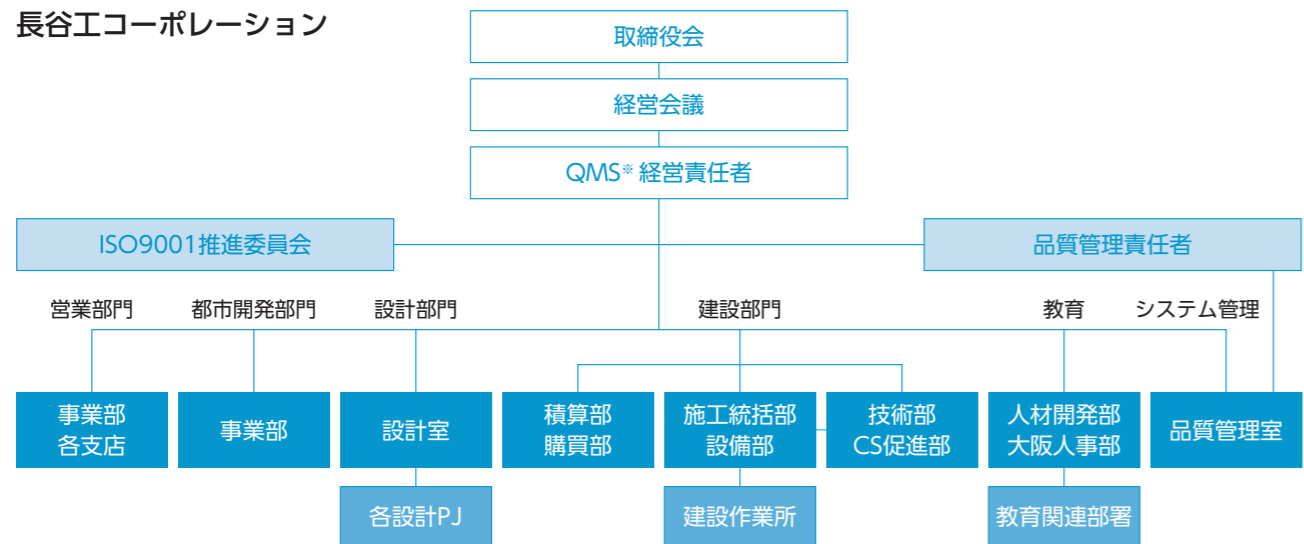
長谷工コーポレーション 品質方針

「お客様の信頼に応える品質を提供する」

1. 法規制・ISO9001:2015要求事項への適合及び品質マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 当社全従業員及び当社で従事する全ての人々に対して品質方針の周知を図ると共に、協力会社に本方針の周知と協力を要請します。
3. 品質方針を達成するために、関連部署は「品質目標」を掲げ実施します。
4. 品質方針、品質目標は適切性持続及び経営戦略を支援するため定期的に見直します。
5. 品質方針は公開します。

品質マネジメントシステム推進体制

長谷工コーポレーション



*品質マネジメントシステム

2019年4月1日現在

品質マネジメントシステムの状況

ISO9001認証取得の経緯

長谷工コーポレーションでは、1997年3月に東京地区、7月に関西地区でISO9001品質マネジメントシステムの認証を取得しました。2018年3月に品質マネジメントシステムを東西地区統合し運用しています。

今後も品質管理活動を継続して展開していきます。

取り組みと継続的な改善

品質管理活動を進めるにあたり、品質方針を策定、各部門は品質方針を受け品質目標・目標値を定め推進しています。品質マネジメントシステムが規格要求事項を含め当社の取り決めに適合しているか、また、適切に実施され維持されて

いるかを内部監査及び外部審査によりチェックし、その結果を踏まえ、見直しを行い継続的な改善を図っています。

2018年度の外部審査受審日及び指摘件数は以下の通りです。

	登録日 更新日	外部審査 受審日	外部審査 指摘件数
長谷工 コーポレーション	1997.3.31 2018.3.31	2019.2.26・27	なし
長谷工 リフォーム	2010.7.15 2019.3.14	2019.2.5 ～8・13～14	なし
不二建設	2000.11.15 2018.11.15	2018.8.29・30	軽微な 不適合1件

安全・安心で快適な空間の実現

安全・安心で、人と自然と住まいが調和した暮らしを実現する技術・サービスを追求するとともに、地震への備えなど防災・防犯対策にも徹底して取り組んでいます。

安全・安心・快適

地震に強いマンションづくり ～実大試験棟で基本仕様の安全性・耐久性を確認

長谷工コーポレーション技術研究所は、国立研究開発法人防災科学技術研究所(以下、防災科研)と、マンション内外装関連の安全性・耐久性について共同研究を行いました。

集合住宅を想定してモデル化したRC造10階(高さ約27.5m)の試験体で震動台実験を実施。試験体に設置した当社の基本的な仕様の内外装及び設備関連部材は、兵庫県南部地震(M7.3)の揺れを4回再現した後も継続使用が十分に可能であり、安全性・耐久性の確認ができました。

今後も、安全・安心、快適な住まいを提供するべく、地震に強いマンションづくりのための研究・技術開発を進めると

ともに、時代やニーズに対応したマンションを企画・設計していきます。



安全・安心・快適

ずっと快適に住まい続けていただくためのアフターサービス「長谷工プレミアムアフターサービス」

長谷工コーポレーションは、アフターサービスを重要なマンションの品質と考えてきました。そのため、お客様の声をダイレクトに聞くことで、より正確に状況を把握し、最適な対応をスピーディに行う長谷工プレミアムアフターサービス(PAS)を、2008年より導入しています。2018年度の対応件数は、東京地区11,337件、関西地区1,781件、計13,118件となりました。

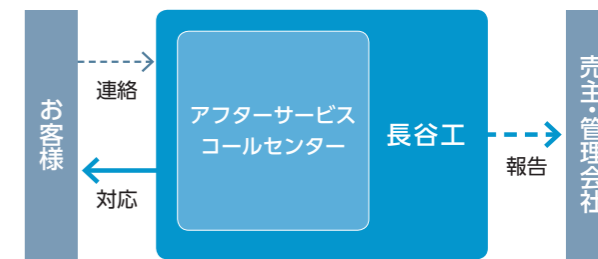
従来は、管理会社を通して連絡が入るという流れが一般的でした。PASの導入により、作り手である長谷工にダイレクトにお客様の声が伝わることとなり、一級建築士をはじめとするマンションを知り尽くしたスタッフが対応することで、技術者による対応もよりスムーズになります。

PASはコールセンター機能を担うだけでなく、アフターサービス期間の延長、定期サービスの強化、住まいの整備手帳やメンテナンスキットの配布など、あらゆる角度から住まいを永く使っていただくためのサポートを実施しています。さらに、コー

ルセンターに寄せられる声や点検チームによる定期検査の内容等については、設計・施工、管理・技術管理部門が出席するフィードバック会議で共有し、設計施工中の物件にも反映されます。今後もより多くの物件で採用されることにより、住まう人の安全・安心な暮らしに貢献していきたいと考えています。



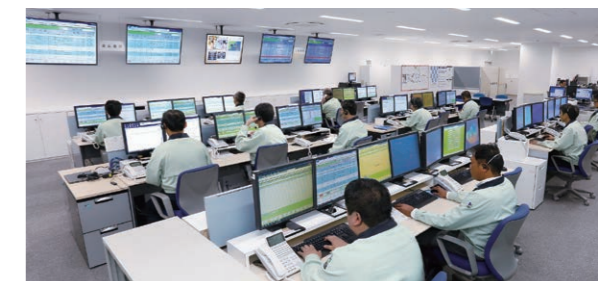
長谷工プレミアムアフターサービス



安全・安心・快適

長谷工コミュニティ アウル24センター ～24時間365日体制で住まいの安全・安心を守る

長谷工コミュニティが自社保有する「長谷工コミュニティアウル24センター」では、24時間365日体制でマンションの警報監視を行っています。異常事態が発生した際は、警報の自動通報もしくは居住者からの電話通報を受け、迅速に状況を把握し、警備員やスタッフが現場に出動します。また、夜間休日のフリーダイヤルによる電話受付窓口としてのコールセンター機能も担っています。



住んでいたい空間を支える技術イノベーション

「住む人が、永く安心して快適に暮らせる住まいづくり」を実現するため、長谷工グループ独自の研究開発体制を築き、新たな挑戦を続けています。

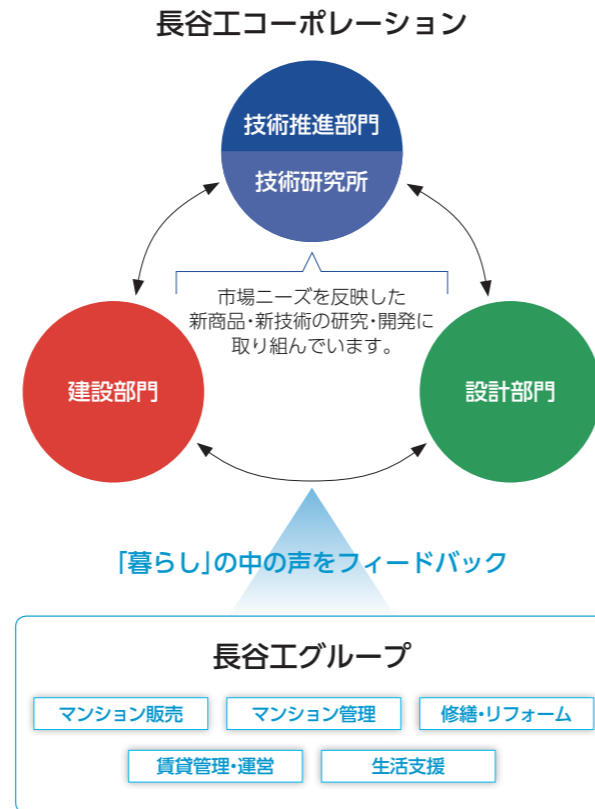
安全・安心・快適

暮らしの環境配慮

長谷工グループの研究開発体制

長谷工コーポレーション技術研究所は、「住む人が、永く安心して快適に暮らせる住まいづくり」を目指し、建物の長寿命化や耐震性強化、CO2削減をはじめとする環境問題など常に顧客や社会の新たなニーズに応えるべく、集合住宅に関する様々な性能実験や研究開発にチャレンジしています。

研究体制図



長谷工のものづくりのDNA

私たちは、1960年代後半からマンションづくりに取り組んできました。
50年以上の歴史の中で、さまざまな開発をおこない、日々新しい挑戦を続けています。

その中で、唯一とつ変わらないもの。
それは、家族の安心、良質な住まいへの、揺るぎない想い。

地道な作業の繰り返し、当たり前のことを原点から見直す発想、そしてアイデアを具現化する技術。
長谷工のものづくりのDNAは、今も変わらず社員ひとり一人に受け継がれています。

安全・安心・快適

暮らしの環境配慮

建物・設備に関する技術開発

人が感じる心地よさや快適さも、日々の実験や検証の積み重ねによって作り出すことができると考えます。
長谷工技術研究所では、リアルな住環境について研究するため、実際のマンションを「住宅実験棟」として再現し、研究・開発にあたっています。
住戸内で音がどのように伝わるのか、配管はどのように劣化するのか、さらに太陽光発電など自然エネルギー利用や将来のリフォームに活用するアイデアなど、常に実際の住まいと同じ環境で、暮らしに直結する技術を磨いています。

内外装に於ける住宅性能向上に向けた取り組み

- 可変性を向上させる内装システムの開発
- 耐久性と更新性を考慮した外装システムの開発
- 遮音、断熱、換気等の住宅性能を向上させる技術開発
- 利便性や快適性を向上させる商品開発
- 設備配管の更新、更生工法の開発
- 自然エネルギー利用への取り組み
- 内外装のリフォーム技術の開発



音体感室での遮音実験状況

暮らしを支える、技術・サービスの提供

人々の暮らしや家族のあり方がますます多様化するこれからの時代に、最新の技術による提案ときめ細やかなサービスを提供し、暮らしに新たな価値を提供していきます。

IoT活用とオープンイノベーションを推進

安全・安心・快適

多様なライフスタイル

コミュニティ

集合住宅に関わるICTの活用とオープンイノベーションへの取り組みを本格化

長谷工グループでは、安全・安心、快適な住まいと暮らしの実現に向け、設計・施工における住まい情報と、マンションに組み込まれたセンサーから得られる情報をはじめとした暮らし情報を独自のクラウド上に集約した情報プラットフォーム「HASEKO BIM&LIM Cloud」を構築しています。今後も各種メーカーやベンチャー企業、大学や研究機関と幅広く連携を図りオープンイノベーションを進めるとともに、ハード・ソフト両面の情報を活用する「ICTマンション」の開発を目指していきます。

共用部利便性向上を目指した「IoTマンション」共同実証実験

長谷工コーポレーションとNTT西日本は、「IoTマンション」の実現に向け共同実証実験を開始しました。実証実験では、顔認証によるエントランス共同玄関電子錠の開錠および宅配BOXの着荷通知の動作・精度の確認を行います。住宅機器・情報機器が保有する情報とマンション居住者の情報をつなげることで、利便性の向上だけでなく、マンション管理会社や設計者等にも有用な情報を提供していきます。



[実証実験の様子] 社宅のエントランス(風除室)
[顔認証によるメッセージ例] 帰宅時の通知/宅配BOXに荷物があつた場合

RFID* (電子タグ) を用いた建設部材の一元管理

長谷工コーポレーションでは、「建設部材の生産・出荷・在庫の管理」や「工事進捗の見える化」、「保守におけるトレーサビリティ (追跡機能)」などの実現を目指し、長谷工グループのフォリスにてトライアル実証を行ったのち、外装材メーカー不二サッシと共同で実証を開始しました。今後、内外装部材にも範囲を拡大する予定です。
*RFID (Radio Frequency Identification) : 無線を利用して非接触で電子タグを読み書きする自動認識技術

対話型AIロボット「ZUKKU(ズック)」を活用した高齢者の健康増進サポート

長谷工アネシスと長谷工シニアホールディングスは、高齢者が健康で豊かに暮らせるマンションライフの実現に向けて、ハタプロと共同で、手乗りサイズの対話型AIロボット「ZUKKU(ズック)」を活用し、入居者に対するズックからの話しかけで得られる暮らし情報(食事バランス、活動、社会参加状況、体調等)の取得と、その情報に基づく最適な食事や健康等の情報を提供するための実証を行いました。



多様なライフスタイル

『OSEKKAI(おせっかい)』プロジェクト始動 女性担当者のアイデアを活かした商品企画



商標登録第6144636 他

長谷工コーポレーションは、野村不動産(株)と共同で、女性の視点で暮らしを楽しくする商品企画『OSEKKAI(おせっかい)』プロジェクトを開始しました。両社の女性担当者が中心となり、少々殺風景な空間と思われる、共用トイレやゴミ置き場等の共用部+αのちょっとおせっかい(気遣い)したデザインを取り入れ、より豊かな暮らしを創造します。

2020年3月から入居開始の「プラウドシティ東雲キャナルマークス」への導入を第一弾として、今後の物件に展開してまいります。